

平成30年度 学校関係者評価記入用紙

秋田県立ゆり支援学校

◎実施時期：平成31年2月 ◎回答数：13/13 (100%)
 ◎評価： A：よい B：だいたいよい C：もう少し D：不十分
 ◎評価上段：人数(人) 評価下段：割合(%)

No.	学校関係者評価項目及び指標	評価			
		A	B	C	D
1	目指す学校増の実現を目指して、特色ある教育実践に取り組んでいる。 目指す学校像 「地域とともに歩み、地域で育ち、地域に必要とされる学校」	8	5	0	0
		62	38	0	0
2	コミュニティスクール推進委員と連携して、積極的によりよい学校づくりに取り組んでいる。 【指標】 コミュニティスクール推進委員会等	8	5	0	0
		62	38	0	0
3	地域と関わる学習活動をととして、障害理解や障害者理解を進めている。 【指標】 学校間交流、居住地校交流、部活動交流、販売会や清掃・除雪・花植などの地域交流活動等	10	3	0	0
		77	23	0	0
4	児童生徒が生き生きと取り組み、地域の中で活躍できる学習活動を実践している。 【指標】 大運動会やゆり支援フェスティバル等の行事、作業学習交流会、各種スポーツ大会・美術展・技能大会等への参加等	12	1	0	0
		92	8	0	0
5	卒業後の自立と社会参加に向けて、福祉、行政、事業所等と連携した指導を行っている。 【指標】 職場開拓、作業学習、現場実習、施設体験等	6	6	1	0
		46	46	8	0
6	児童生徒が安全で安心して生活できる学校環境を整えている。 【指標】 校舎内外の施設設備や危機管理マニュアルの整備、避難訓練や緊急時対応訓練など等の実施、地域や関係機関との連携等	6	7	0	0
		46	54	0	0
7	学校の取組や学習の様子について、積極的に情報を発信して学校への理解を進めている。 【指標】 テレビや新聞、ホームページ、学校報や各種通信等	10	3	0	0
		77	23	0	0

■学校に対する意見等

- ・先生方と一緒に、児童生徒が成長する過程を見る機会を作ってもらい感謝している。
- ・学校を訪問するたびに、生き生きと活動する子どもたちの姿とそれを支える先生方を目にすることができた。
- ・行事の案内をもらう度に、生き生きと元気な子どもたちの表情と出会える日が楽しみになった。
- ・学校の温かく生き生きとした雰囲気が良い。
- ・ホームページに掲載されている日頃の様子や、学校運営に関わる細やかな内容から、自分自身も学んでいる。
- ・今年度、地域に開かれた学校を目指して実践していたことは良かった。
- ・地域として学校や生徒たちには大変お世話になっている。町内としてできるだけ協力していきたい。
- ・学校の頑張りには頭が下がる。もっと地域を巻き込んだ、地域とより連携した取組にしたい。
- ・学校運営協議会の委員として、学校の負担軽減の観点からも、意見を述べるだけでなく行動として何かできないかと思っている。
- ・スムーズな社会生活への移行には、福祉サービス等との課題がまだまだ少なくないと感じており、努力していきたい。
- ・子どもたちがひとり立ちをして生活するためには周囲の理解が大切であり、常日頃から横のつながりを太くし環境を整えていく大事さと難しさを感じた。
- ・学校で伸ばした生徒たちの可能性を地域に引き継いでいけるようになれば良いと思う。
- ・地域の障害理解を支える学校として、これからも様々な活動に積極的に取り組んでほしい。
- ・「読み聞かせボランティア派遣事業」を活用して、授業に読み聞かせを取り入れてはどうか。
- ・来年の20周年では、記念行事で多くの市民を呼び込み、障害理解やコミュニティ・スクールの理解を進める取組を期待している。

